

# nicochanism

ニコチャニズム

重い病気や障がいがある人の  
こころゆたかな毎日のために

# 10

2023  
06.01

認定NPO法人  
ニコちゃんの会



talk session

## ボランティアあつまれー!の話

特集 ケアコミュニティの第一歩

ようやく引っ越しです。

2023/7/15 から  
〒814-0151 福岡市城南区堤 2-12-5  
に変わります

認定NPO法人ニコちゃんの会

〒814-0153 福岡市城南区樋井川 6-37-8

info@nicochan.jp

http://www.nicochan.jp



Instagram

@nicochanism



facebook

@nicochannokai



Syncable

寄付用



nicochanism

No.10

2023年6月1日発行

発行・デザイン 認定NPO法人ニコちゃんの会



designed by nicochan



2022年11月でニコちゃんの会は10年を迎える事ができました。設立前の2010年にケアコミュニティハウスプロジェクトを構想してから今日まで、共に活動してきてくれた仲間たちとご支援してくださる多くの方々のおかげで、ケアコミュニティハウスニコちゃん家(にこちゃんち)として、ようやく芽を出すことができました。本当にありがとうございました。

このケアコミュニティハウスは、重い病気や障がいのある人たちの日々の暮らしを支える拠点であると同時に、誰にとっても風通しが良く、交流や支え合いが生まれるような場所にしていきたいと思っています。ひと昔前でいうと、家の縁側(えんがわ)で井戸端会議が行われているような風景を思い浮かべます。

認定NPO法人ニコちゃんの会  
代表理事 森山淳子



代表挨拶 : 02

talk session  
ボランティアあつまれー!の話 : 03

スタッフコラム  
ちゃんちのカベ : 08

支え合いがあたりまえにあるコミュニティ  
ケアコミュニティ次のステップ : 09

前年度の活動一覧・2022年度(第11期) : 13

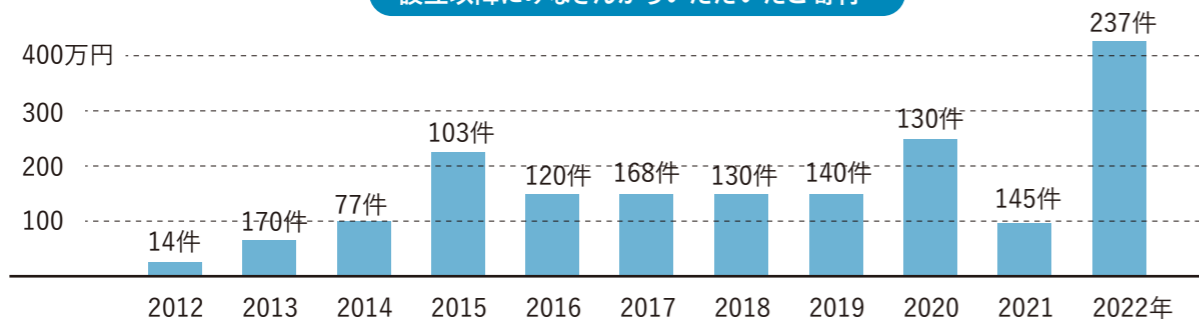
ご支援のお願い : 17

昨年度のご寄付

寄付金額	4,271,201円
寄付件数	237件
個人	219件
法人	18件

※昨年度分は建築費用に  
充てさせていただきました

設立以降にみなさんからいただいたご寄付



これまでの寄付金額 **16,952,331円**

これまでの寄付者数 **438名**

これまでの寄付件数 **1,434件**

寄付金の用途

- ・これまでのイベント等の企画(10年で計167企画)
- ・建設費 等

**ボランティアに参加したきっかけ**

**森山** 林さんは、一番初めは海外から来た子のホストファミリーから始まったよね。

**漆山** きっかけは何だったんですか？

**林** うちの子が小学校からホストファミリーしませんでしたか？っていうチラシをもらってね。面白そうやんって感じね。

**森山** ホストファミリーの後、組織の一番コアな部分を動かしていったよね。

**林** そんな大げさじゃないよ(笑)。

**漆山** どんな団体なんですか？

**林** アジア太平洋地区から200〜300人ぐらいの11歳の子どもたちを夏休みに福岡に招いて1週間ぐらい一緒にキャンプをして、それぞれのホストファミリーのところに預けるっていう企画がひとつ。もうひとつは福岡の子どもたちをアジア太平洋の国に派遣するっていう。それは1週間から10日ぐらいのプログラムね。この2つのプログラムが軸になっていて。事務局があって、職員さんはいらんだけど、200人ぐらいのボランティアが全部の企画を運営しているような感じなの。キャンブ部会とか、(海外への)派遣部会とかホストファミリー部会とかあるんだけど、それぞれの部会のト

ップもみんなボランティア。事務的な手続きとか、海外とのやりとり等は事務局がやって、あとは企画から会議から全部ボランティアで。ボランティアを集めるのもボランティアの仕事。運営予算は福岡市とか企業さんとか。ボランティアも中学生から70代くらいの人まで幅広い年齢の人がいたよ。活動にスポッ的に関わることできるし、どっぴりハマるよっつなこともできるかな。

**漆山** 林さんはどっち？

**林** もちろんどっぴり。キャンプを任せられるようになってすこくハマって。10日間みんなで寝泊まりするのよね。ホームシックで泣く子を見て、「あーかわいい」って思いながら(笑)。

**森山** あみ(漆山のこと)も子ども関係よね？

**漆山** 私は子どものことに関わりたいうって思ってたけど、何をしたらいいかわからなくて。オーストラリアの大学では心理学をやってたんだけど、日本に帰ってきて就職説明会に行ってみたら全然合わなくて…。いろいろ悩んでいる時に日本のテレビ番組でドイツ国際平和村のことが取り上げられてたんです。戦争の被害で痛々しいんだけど子どもたちが皆楽しそうに笑っているのが印象的で、ここに行ってみてみたいなって思ったんです。

**森山** 行ってみたいってどうだった？



talk session

# ボランティアあつまれー!の話

私たちの活動にはたくさんの人に楽しく

参加してもらいたいと思います。

ボランティアさんはその1つの入口です。

今回は、ボランティアに楽しく参加してきた方々に

お話を伺いました。

はやしいずみ  
林泉  
カフェオーナー

わたしにとってのボランティア

“NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡”

ボランティア活動に長年参加してきたベテラン。現在はボランティアは離れてカフェのオーナーに。ボランティア活動では、世界中の子どもたちが福岡に集結するキャンプ企画等を担当。

うるしやまあみ  
漆山阿弥  
ニコちゃんの会 理事

わたしにとってのボランティア

“ドイツ国際平和村”

中学生から大学生までマレーシア、オーストラリアで生活。子どものことに関心がある。1年間住み込みでドイツ国際平和村にて戦争で傷ついた子どものお世話をするボランティアに参加。

はだみさき  
波田光咲  
九州大学芸術工学部 学生

わたしにとってのボランティア

“アクセシビリティピアサポーター(九州大学)”

“障がい”や“福祉”に関心がある大学3年生。学内のアクセシビリティを高める活動に参加。活動は、発達障がいがある中高生の大学進学支援、式典や講座の字幕作成等多岐にわたる。

もりやまじゅんこ  
森山淳子  
ニコちゃんの会 代表

わたしにとってのボランティア

“たかしとオーロラいくっ隊!”

これまで障がいの有無に関わらず楽しめるスキーやキャンプ等を企画。車椅子の青年“たかし”の夢を叶えるべく、有志を募り数年の準備を経て、ほぼ自己資金で2018年にアイスランドへ渡航。



たかしとオーロラいくっ隊!  
隊員の記録



い菜やカフェ  
北九州市小倉南区田原1-15-18  
#inayacafe

**漆山** 楽しかったし激しかったし濃かった。戦争で傷ついた子たちは笑わないとどこかで決めつけていたんだろうね。料理したり遊んだり楽しい時間ももちろんたくさん過ごしましたが、松葉杖を振りかざすような本気の喧嘩の仲裁をしたり、大人を試すような悪知恵に悩まされたり。輝かしい笑顔だけじゃない、子どもたちの日常に本気で向き合う1年だったよ。働き方は月に休みが6日間あって、有給休暇が年に40日。日本ではボランティアと言われるけど、外国の人は研修とかインターンシップのような扱いだったみたい。

**森山** なるほど。お国柄の違いはあるね。林さんの話を聞いてると、やっぱりボランティアを組織立ててやっていくには少人数でもしっかり任されてや



って行ける人が必要なのかなって良く思う。責任感が出てくるからだろうけど、自分たちで企画立案したものを育てていくのが良いと思う。これがハマってる人にあたるのかな？波田ちゃんは自分の経験で何かリンクするものはある？

**波田** 聞いてて思ったのは高校まではボランティアアツて聞いたら地域清掃とかをイメージしてました。でも、大学のピアサポーターという集まりに所属するようになってから変わりました。学内の障がいがある人のためにサポートをいろいろやる団体なんですけど、今皆さんから聞いたボランティアに割と近い形なのかなと思いました。式典や授業の字幕を作る班や学内マップを作る班等いろんな部局があつてそれぞれを学生が企画して運営するような団体です。

**森山** 多分ニコちゃんがボランティアの人たちの活力ある働きを考えていく中で、今のピアサポーターとか、林さんの経験とかがとても役立つのになつて思いました。これがちゃんと煮詰められていたら組織として形成されたボランティアのやりかたができると思う。さっき林さんが言ってた「ハマった」っていうのが大事よね。これが軸となつてボランティアの組織が回っていくんじゃないかと思うんだけど、このあたりをもう少し掘り下げていきたいな。

また少しずつボランティアに戻ってきてくれるというのも理想的だし、さらにそういう子を継続的に育てていくというのは大事よね。卒業したらもうお終いじゃなくて、毎年新しい学生が入ってきて、そして仕事に慣れてまた帰ってくる子もいて、というのが回りだすと一番良いよね。「学生の時みたいにつりはできないけど、この部分だったらできます」とか。自分にとっては懐かしい場所のはずだからまた帰ってきてできることがあるっていうのは嬉しいと思うし。

**森山** そういのができるといいね。

**漆山** 私の場合は1年間契約でボランティアをやつてそれでやりきつたという感じでした。私自身は、そのまま就職したいとは思わなかつたけど、もちろん残る人もいて、そのままドイツでスタッフとして働いてる人もいました。日本に戻つてから別の団体で活動してる人もいます。いろんな続け方があるといいのかなと思つて、さっき林さんが言つてた、懐かしさっていうのはやっぱりあつて、ドイツに行つたらどうしてるかなって覗きたくなるしね。いろんな人の気持ちを汲めたいいな。

**波田** 話を聞いててサークルっぽい感じもあるなつて思いました。サークルもお金で動いてるわけじゃないし、やっぱりやりがいがあるからやってるんだらうなつて。そしてOBやOGになつてもまた覗きたくなるような感じが近いかなつて思いました。ちょうど昨日サークルの新歓コンパがあつたん

### 帰って来られる場

**森山** 今のニコちゃんのボランタリーな企画の発想って設立前にやっていた障がいがある子たちと行くキャンプとかスキーとかがあるんだけど、そのときにボランティアで参加してくれていた高校生たちって自分たちでお金貯めて参加してくれたんですよね。キャンプとかスキーだから行くのにお金かかるわけよ。そうやって大学を卒業するまでずっと参加してくれていた子たちがいたんだけど、社会に出ると仕事をしないとイケなくなつてボランティアはできなくなる。それがすごく残念で、こんなに楽しんでくれていたのに、離れて行かないといけなくなるなんて。それで、楽しいと思えることで生活できるようにしたいって、そんな思いもあつてニコちゃんの会を始めた部分があるんだけど、まずはみんながちゃんと食べていけるようにならないと、思つて日常を支援するための活動を始めたんよね。そこから11年。やつとこれからそういうボランティア活動的なことを地域の人たちとか社会のいろんな人たちとやつていく事を考える段階に来たつて思つてる。それをどう組織立ってやつていくか。

**林** 社会人になつた時に自分の生活を営むためにボランティアから離れていくというのはどの団体にもある話よね。でもそういう人たちが社会生活に慣れてきて少しずつ自分の時間ができた時に

ですけどOBやOGもたくさん来てくれて、それがすごく楽しくて。

**森山** ニコちゃんはやつと、そのふらつと覗きに來られるような場所(建物)ができるよね。

**林** そうよね。やつと。

### 仲間ができる場

**林** 私も一番最初はボランティアアツて「ここで誘導する人」とか「ここで旗を持つてる人」とかいふ感じで明確に振り分けられるんだらうと思つたんだけど、一番初めのボランティア登録会の時に「何しづらいと思ひます？」って投げかけられて、「え、そこから？」って。そのまま退会しようかなつて思つたよ。私そんなにアイデア持ってきたわけじゃないし…。こんな感じで最初の登録会の次に繋がらない人は毎回大勢いるんよね。でも仲間ができると違うよね。私もその日一緒にいた人と「イメージしたのと違いましたよね」って話してただけで、「もう1回行ってみましょうか」みたいな話になつてね。たぶん一人だったら次は行つてなかつたと思う。結局その人は次の会議にも現れなかつたんだけどね(笑)。

皆 ー。

**林** 結局次の会議に参加して、自分がちょっとと言つ

たことが採用されて、その部分全てを任せられたわけよ。そう言ってもらって、それがハマり出すと楽しいとなってくるのかな。仕事と違ってわからないことがあったら気軽に職員さんに聞けるし。そういう気楽さがゴール次につながるようになったのかなって。

漆山 うまくいかない時はどうするんですか？

林 うまくいかなかった時のフォローは：飲んで慰めてくれるぐらいかな(笑)。一生懸命やったけどうまく行かなくてやめていく学生さんもあるし、来年の目標につながる子もいたよ。だからガンって落ち込んだ子を拾い上げるための部会もあるんです。ボランティアをサポートする部会ね。

森山 大事ね。

林 いろんなイベントを通じて仲間作りをして、そして仲間になってみんなで企画をするっていう感じかな。

森山 今林さんが言っていたボランティア登録会っていうのはすごく大事かなって。私たちが関わっている人たちのこと、私たちのポリシーを伝えたいといけない。参加してもらおうなら障がいがある人だけじゃなくって、みんなで支え合うコミュニティみたいなものを目標にしていることを伝えたいといけないのかなと思ってね。そういうプロセスは必要よね。

第3の居場所

林 ボランティアが集まったっていう前提での話なんだけど、みんな仕事と家庭っていう2つの生活の軸があって、それ以外の3つ目の居場所としてボランティアをやっているような気がするよね。そしてその3つ目の居場所の目標はつきりしているのは大事と思うよ。アジア太平洋子ども会議だったら子どもたちがキャンプ等を通じて楽しい気持ちで仲間作りをするとか。そこに向かってみんながワイワイガヤガヤやっていると。ゴールの達成感も共有できるし思い出話ができる。仲間づくりができるってボランティアが続いていくから、ボランティア同士がたくさん接点を持つというのは大事なんじゃないかな。

森山 確かに同じ目標に向かって進む仲間は大切よね。

林 そういう仲間の集団ができてきてリーダーみたいな人を育てていく。あと、案外おそろいのTシャツとかも大事だったりするよね。

森山 ボランティアで心を育んだ人が地域に増えていったら障がいだけじゃなくて、高齢とか他にもいろいろ困難を抱えている人と関わり合って支え合って。私が言う「ケアコミュニティ」ってそういう発想なんだけど、そういうことが普通に起きるような地域ができたらいいなって思ってる。

スタッフ  
コラム

ちやんちの  
かぶ

ニコちゃん家の開設当時、私は自分出来ることごとくも少なく、まっさらな大きな白い壁にハウインの月や魔女を貼ってみようと思いましたが「それが「ちやんちのカベ」の始まりでした。以来、季節ごとに少しずつ壁の様様替えをしています。その日の遊びで使った絵の具や画用紙などの残りを利用し、貼り絵を作ります。

心がけているのは、明るい色彩で、世界観がわかりやすいものにする。暑い季節には涼しく感じられるように。寒い季節には暖かみがあるものに。ここを訪れた人が不思議な空間に入ったような気持ちになってくれたら嬉しいなと思いつつ作っています。動物園、水族館、トトロの森等は、スタッフと子どもたちみんなで遊びながら作りました。大きな色画用紙や障子紙に刷毛やローラーで絵の具

を塗って素材を作り、相談しながら形にします。私がいよいよ日に新しく素材ができていて、そこから発想が広がることもありました。みんなで作ると、完成後もその世界の中の楽しい遊びに繋がることが多いように思います。また、冬の街並みやトトロの森でのコンサート等、特別な行事と連動した装飾も思い出深いです。役目を終えた貼り絵は素材に戻り他のものに生まれ変わります。いつも壁のあちこちに思い出の断片が散りばめられているので、私の中では楽しかった記憶はずっと継続しているのです。もうすぐこの壁もお別れです。今は引越す前の最後の作品「睡蓮の池」に取り組んでいるところです。



企画したひと  
心理指導スタッフ：末廣 真木





～2022年12月  
設計



2022年11月  
地鎮祭



支え合いがあたりまえにあるコミュニティ

ケアコミュニティ

次のステップ



学校に行きたくないとき、育児に悩んだとき、家に帰りたくないとき、これからのことが不安になったとき…  
ちよつと場所を変えて誰かと出会って話したり、お茶を飲んだりすることで、心が晴れたり、解決の糸口が見つかったりすることってきつと誰にでもあるのではないのでしょうか。

ここは重い病気や障がい等、「ケア」を必要とする人の日常を支援する拠点であると同時に、たくさんの方が「ケア」し合う（支え合う）心を育み、それがあたりまえにある場を目指しています。

ニコちゃんの会は、法人設立以来重い病気や障がいがある人の生活に寄り添うことを大事にかかわりを積み重ねてきました。ニコちゃんの会を通じたかわりは私たちにとつても、大事な人たちが増え、うれしいこと、楽しいこと、悔しいことなどいろいろな感情を共にして、生活の幅をゆたかなものにしてきています。

障がいの有無に限ったことではないとは思いますが、少し顔見知りになっただけでも「あのね…」って会話が始まって何かが開けていくかも。小さなこともかもしれないが、ここではその積み重ねを大切に、支え合いが自然と起こるようなきっかけをたくさん創っていきたいと考えています。

①障がいがある人との日常的な関わり

- ・通所の福祉サービス
- ・ご自宅に訪問する福祉サービス
- ・相談支援事業の福祉サービス

②たくさんの方が行き交うためのきっかけづくり

- 秋ごろ : ニコフェス(お祭りイベント)
- 春ごろ : 春の式
- 不定期 : 身体的にバラエティあふれる人たちの演劇  
ニコゼミ  
カフェ 等

ジョウトウシキ モチ  
上棟式と餅まき

ニコちゃんお手製



餅だけじゃなくお菓子も包みました



上棟式の飾りはニコちゃん家のみんなで制作



人のごたごた

長年の夢だったケアコミュニティハウス。いろんな人が行き交う場にしたと思っていましたが、その始めの一步は餅まきになりました。久しぶりにたくさんの方をお誘いしました。イベントチラシも2年ぶりに出しました。

屋根の上から餅がまかれると「わー」とか「きゃー」とか大人も子どもも混ざりあって大きな歓声が上がります。上から降ってくる餅を拾うべく走り回る人。車いすの上いっぱい餅やお菓子をのせている人。「こんなに拾ったよ」と両手いっぱい餅を見せてくる人。そんな賑やかな様子を楽しそうに見守っている人。

餅は5分足らずで無くなってしまいました。その後、もたたくさんの方が残り、あちらこちらで積もる話に花が咲いていました。

2020年から早3年。コロナの影響ですと我慢してきました。オンラインを活用することも増えましたが、やっぱり何か物足りない。久しぶりに見たこの人混みがとても新鮮でワクワクしました。

山田賢祐



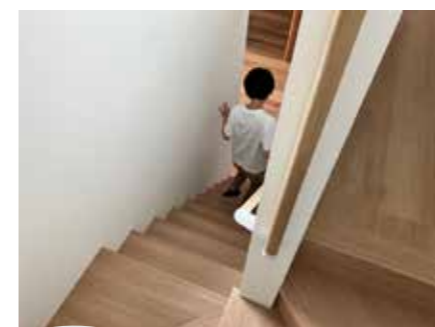
2023年3月



2022年2月  
上棟式と餅まき



2023年1~2月



2023年5月

オープン日  
7/18予定

2022/4/1 ~ 2023/3/31

MEET with あのラボさん!!2022



2021 年度に引き続き、福岡市文化芸術振興財団と anno lab と当団体の三者で、テクノロジーをつかって障がいのある子どもたちとの関わりについて考える実験的取り組みを行いました。ニコちゃん家に通う 3 人の子どもに協力してもらい、「実験」という名のあそびを 2021 年度よりも深く探っていきました。

普段関わるスタッフたちも十分に楽しむことから、さらに子どもたちへもわくわくが伝染することをめざし、「日常の延長」として楽しめるアクティビティを再検討しました。

福祉もアートも面白い！とっても近いのになんだか遠い！  
せっかくたから近づきたいと思ったら、分野の壁はけっこう高く、感じ方も考え方も違い、どんなゴールにするか同じイメージをもつことが難しかったです。でも、その難しさがあるからお互いが歩み寄ることの大切さをより強く感じることができました。

担当者：福田万由未

2年間をまとめた  
総集編動画 ⇒



≪1年間の取り組み≫

【5月・6月 お互いの世界を知る】



【7月・11月 ブレインストーミング】



【11月・1月 やってみる!】



主催：(公財)福岡市文化芸術振興財団 / 福岡市  
協力：anno lab / 認定 NPO 法人ニコちゃんの家

2022/8/3~8

精華女子短期大学幼児保育学科 保育実習



7月にオンラインでの施設見学をしており、その延長として実習生を受け入れました。専門職として関わる前に、ひとりの人として関わるということをお伝え出来るように心掛けています。

対象：幼児保育学科2年生3名  
主催：精華女子短期大学

2022/7/9

幼児保育学科講義「施設オンライン見学」講師



昨年に引き続き、今回も学生さんたちに団体や通所施設「ニコちゃん家」の説明を行い、ウェブカメラで施設内を映して紹介いたしました。コロナが明けたら是非遊びに来ていただきたいです。

対象：幼児保育学科2年生12名  
主催：精華女子短期大学

2022 4/1 ~3/31

MEET with あのラボさん!!2022

[keywords] 福岡市文化芸術振興財団 / anno lab / メディアアート



7/9 幼児保育学科講義「施設オンライン見学」講師

[keywords] 精華女子短期大学幼児保育学科2年生



8/3~8 精華女子短期大学幼児保育学科 保育実習

[keywords] 精華女子短期大学幼児保育学科2年保育実習



8/27 dLabディーラボフクオカ フィールドワーク 講師

[keywords] NPO 法人ドネルモ



9/15 福岡大学医学部看護学科 小児看護実習

[keywords] 福岡大学医学部看護学科3年生



10/22 福岡市医療的ケア児等コーディネーター養成研修 講師

[keywords] 福岡市立心身障がい福祉センター 基幹相談支援センター



11/10 共に生きる社会づくりのためのオンライン講座 講師

[keywords] NPO 法人よこはま地域福祉研究センター



12/10 令和4年度特別支援教育啓発研修会 講師

[keywords] 福岡市PTA協議会 / 福岡市教育委員会 / 福岡市民会館



12/9 ニコサンタ

[keywords] クリスマス



2023 1/19 福岡南ロータリークラブ 定例会卓話

[keywords] ホテルオークラ



1/21 病児と遊びの研究会2023 講師

[keywords] 横浜こどもホスピスプロジェクト



2/23 上棟式(餅まき)

[keywords] 建設 / 移転



3/20 春の式

[keywords] 卒園式 / 入学式



通年 福祉サービス(訪問、通所、相談支援)

[keywords] 居宅介護 / 重度訪問介護 / 移動支援 / 特定相談支援 / 障がい児相談支援 / 居宅訪問型児童発達支援 / 児童発達支援 / 放課後等デイサービス / 生活介護



通年 nicocafe(新型コロナウイルスの影響により休止中)

[keywords] 福岡大学病院 / ファミリーメンタルサポート





2022/1/21

### 病児と遊びの研究会2023 講師



団体の経験を  
社会に発信する



ニコちゃん家に通所している方の紹介を踏まえて、遊びのテーマと工夫について話をさせていただきました。特に職種間で尊重し合うことの大切さを取り上げました。

対象：参加者 29名（他に聴講生複数名）  
主催：横浜こどもホスピスプロジェクト

2023/1/19

### 福岡南ロータリークラブ 定例会卓話



団体の経験を  
社会に発信する



私たちのこれまでの関わりや活動を実例を交えながらお話させていただきました。私たちの事や活動の事、興味を抱いて知ってもらえる事はとても有難く思います。

対象：クラブ会員  
主催：福岡南ロータリークラブ

2022/9/15~1/26

### 福岡大学医学部看護学科 小児看護実習



出会う機会をつくる



今回実習に来てくれた学生さんは、産科、小児病棟、保育園等をまわっている看護師のたまごさんです。明るい実習生の雰囲気子どもたちもスタッフも、普段とは違う楽しい時間を過ごさせてもらいました。

対象：医学部看護学科3年生 8名  
主催：福岡大学

2022/8/27

### dLabディーラボクオカ フィールドワーク 講師



団体の経験を  
社会に発信する



NPO 法人ドネルモが企画運営している「dlab ディーラボクオカ」にてオンラインで登壇。社会との多様な関わりを考えるプログラムのフィールドワークの一環として、活動内容や法人スタッフの活動の原動力をテーマにお話しました。

主催：福岡市  
企画・運営：NPO 法人ドネルモ

2023/3/20~2023/3/31

### 春の式



楽しいことをする



日々によりそう



今年も1年間のアルバムと卒園の子には修了証書を渡して春の節目をお祝いしました。移転前最後の春の式です。今年もこじんまりと行ったので、来年こそは皆で集まって春の節目を楽しみたいと思います。

対象：ニコちゃん家に来ている方  
主催：認定 NPO 法人ニコちゃんの会

2022/2/23

### 上棟式(餅まき)



楽しいことをする



出会う機会をつくる



「せっかくだから餅まきをやりたい!」と準備をして、無事当日を迎えることができました。普段からニコちゃんの会に関わってくださっている方やご近所の方まで、たくさんの方が足を運んでくださいました。

参加者：多数  
主催：認定 NPO 法人ニコちゃんの会

2022/11/10

### 共に生きる社会づくりのためのオンライン講座 講師



団体の経験を  
社会に発信する



病院からの退院支援の実践報告をもとに、地域で暮らす事をお話させていただきました。

対象：一般  
主催：NPO 法人よこはま地域福祉研究センター

2022/10/22

### 福岡市医療的ケア児等コーディネーター養成研修 講師



団体の経験を  
社会に発信する



障がい福祉サービスに関する研修の講師です。医療的ケアが必要な方に関わるにあたって留意すること等を私たちの経験からお伝えしています。今回のテーマは病院（NICU）からの退院支援についてでした。

対象：福祉サービス従事者  
主催：福岡市立心身障がい福祉センター  
基幹相談支援センター

通年

### 福祉サービス(訪問・通所・相談支援)



日々によりそう



実施事業

- ・居宅介護
- ・重度訪問介護
- ・特定相談支援
- ・障がい児相談支援
- ・児童発達支援
- ・放課後等デイサービス
- ・居宅訪問型児童発達支援
- ・生活介護 等

2022/12/10~11

### ニコサンタ



楽しいことをする



コロナ禍ということもあり、この2年間は少人数でプレゼントをお届けするプチニコサンタスタイルで実施していました。しかし、今回は感染対策には木を払いつつ、本来の大勢でのニコサンタを行いました。

対象：法人でかわりがある方 42 家庭  
主催：認定 NPO 法人ニコちゃんの会

2022/11/21

### 令和4年度特別支援教育啓発研修会 講師



団体の経験を  
社会に発信する



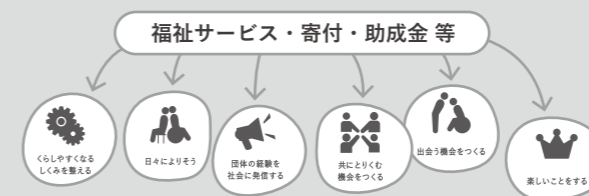
「みんなで心豊かに暮らすこと～医療的ケア児と障がい児のきょうだい児について～」をテーマに私たちが関わっている医療的ケアが濃厚なお子さんを例に医療的ケアや暮らしの話をお話させていただきました。

対象：福岡市立小学校・中学校・特別支援学校の PTA 会員  
主催：福岡市 PTA 協議会、福岡市教育委員会



## ご支援のおねがい

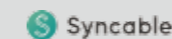
どんなに重い病気や障がいがあっても その人らしく  
 ころ豊かに人生を生き抜くことができる  
 そんな社会のためには是非わたしたちにご支援ください。



ニコちゃんの会は  
 福祉サービスの収益で団体の基盤を整え、  
 福祉サービスの余剰利益・寄付・助成金で  
 様々な活動を企画運営しています。

## 1 寄付する

### クレジットカードでのご寄付



syncable ニコちゃんの会

検索

### 銀行振り込みでのご寄付

福岡銀行（樋井川支店 普通口座 0259591）  
 NPO 法人ニコちゃんの会 代表理事 森山淳子

ゆうちょ銀行（記号 17470 番号 30874861）  
 NPO 法人ニコちゃんの会 理事 森山淳子

※お振込の際は氏名、住所、連絡先をメール等でご連絡ください

### 物品の寄付

例えば 福祉車両 / 医療福祉用具 / 絵本 / 遊具  
 植物 / アウトドア（キャンプ）用品  
 ⇒本誌裏面よりお問合せください

### サービスの提供

例えば 施設利用 / チラシ等の印刷 / 旅行  
 バス+運転 / 屋内外の清掃 / 大工仕事  
 ⇒本誌裏面よりお問合せください

## 2 活動に参加する

### ボランティアとして参加

例えば イベント時のスタッフ（お祭り、展示受付や設営等）  
 通所で特技を活かしたこと（料理、音楽、絵画、ヨガ等）  
 通所で一緒に遊ぶ / 屋内外清掃 / 植栽手入れ  
 ⇒本誌裏面よりお問合せください

### 職員として参加

随時募集しています。  
 詳細はホームページをご参照ください。

**1年につき3,000円以上の寄付 × 100名以上**

認定 NPO 法人として活動を続けていくためにご協力ください

ニコちゃんの会は認定 NPO 法人です。

認定 NPO 法人へ寄付をすると、寄付者は税制上の優遇措置を受けられます。

「税金を収める代わりに、自分が応援したい身近な団体に直接託することができる制度」。

わたしたちはそう考えています。

認定 NPO 法人への寄付者に対する税制の優遇についての

詳細は内閣府「NPO ホームページ」の「寄附に伴う税制上の優遇措置」をご覧ください